

# 週報



# 所沢西ロータリークラブ

R I 第 2570 地区 第 3 グループ

会長 鈴木真澄 ■ 会長エレクト 内田 学  
幹事 堀江 大  
クラブ管理運営委員長 高橋和男

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 ベルヴィザ グラン TEL 04-2923-4122  
事務局 〒359-1143 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL 04-2926-1666  
例会日 毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX 04-2926-5151  
E-mail [nishirc@deam.ocn.ne.jp](mailto:nishirc@deam.ocn.ne.jp) <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

## 第 1371 回例会 2014・11・4

卓 話	例会当番	記念祝福
11/4 「加工食品について」 オーガニックバンク代表 益田英三子様	山田 富男	11 月会員誕生 小暮 博文
11/11 「企業における地震 対策 (BCP について)」	吉田 栄治	

■出席報告	
月 日	10/28
会員数	36
出席者	29
出席率	80%
前回修正	83%

### 会長の時間

鈴木 真澄

今日のお客様は中国から駿河台大学にきている  
米山奨学生「アリカ・アキム」さん、そして米山記念奨  
学部門委員長の「忽滑谷 明」様です、ようこそ我  
がクラブにお越しくださいました。

楽しんでいただけたらと思います。

それから前回 (21 日) の例会は企業見学で職業  
奉仕、親睦委員会の合同企画で米軍横田基地を見学  
に行きました、34 名の多くの参加をいただきあり  
がとうございました。

日本の地にありながら日本の領土ではない、アメリカ  
領土であるということで、パスポート、又は運転免許  
証等、身分証明がないと基地の中に入れないという  
ことで、入るまではとても厳しい検査がありました。

スマホを使って、基地の中の状況の説明がありました。

第 374 空輸航空団と言うそうです。開校 1940 年で  
広さは東京ドーム 155 個分という壮大な敷地とのこ  
とです。

基地内の人口は軍人 2900 人、家族 3900 人、その

他日本人従業員、アメリカの民間人等で「11530 人」い  
るとのことでした。

使命として「日本全国の米軍基地の管理」「西太  
平洋地域米空軍の運用と空輸」をハブ空港として支  
援することがメイン任務で、その他多くの重要な役割  
を担っているとの説明を聞いてきました。

その後テレビ、ラジオ局のサバーブルームの説明、発信地域と  
内容の説明を受けました。

最後にバスで沢山ある建物と、その中でどのよう  
なことをしているのか説明を聞きながら敷地内を  
案内して頂きました。

その後 昭島市にある「フォレスト・イン昭和館」の中華  
料理「花林」で昼食をしたのですが、お酒も料理も  
とても美味しかったのですが、奥様方の参加のお蔭  
で、一層の盛り上がりがあり、楽しいに例会になり  
ました。

幹事の堀江さん、職業奉仕の本橋さん、親睦の鈴  
木さんにはめったに見学できない横田基地をセッ  
クして頂き、また会員の為に心のこもった準備を  
して頂きありがとうございました。

## 幹事報告

副幹事 鈴木 伴忠

- ♥2014年11月のローターレト 1\$=106円
- ♥「ローターニューズ」11月号
- ♥「SAKUJI」作戦のご案内・・・SAKUJI作戦の概要等
- ♥10月11日に開催された地区協議会の決議報告
- ♥地区大会選挙人名簿登録のお願い 11/17必着
- ♥「クラブ請求書」導入に向けたウェビナー開催のご案内
- ♥2015-2016RI理事指名委員会委員推薦のお願い
- ♥規定審議会再通知(クラブからの提案について)
- ♥2013-14ガバナー中井様・地区協議会の感想・追加
- ♥日豪青年相互訪問団員候補者募集案内
- ♥学友会ニュース 2014年10月号
- ♥青少年派遣交換学生の「9月分月次報告書」
- ♥東京江東ロータークラブ・・・アンケート集計結果のご案内
- ♥例会場変更のお知らせ・・・飯能RC
- ♥例会変更・・・入間RC、飯能RC、新所沢RC、所沢RC、狭山RC、所沢中央RC
- ♥週報・・・入間南RC、狭山中央RC、新所沢RC、所沢東RC

## ニコニコボックス

師岡 友次

米山記念奨学部門委員長 忽滑谷 明様(入間RC)

本日は米山月間にあたり、奨学生と共に参りました。宜しくお願ひ致します。

鈴木 真澄 アカム・アキムさん、忽滑谷 明様 本日は当クラブを訪問いただき有難うございました。

室伏 秀樹 忽滑谷様、本日は御苦勞様です。奨学生のアカム君ようこそ！ 当クラブも今年度3名の米山功勞者を出しました。

中村 茂 ようこそ当クラブへ。米山奨学部門委員長 忽滑谷 明様、奨学生のアカム、アキムさん、本日の卓話をよろしくお願ひします。当クラブでは3名の米山功勞者の協力をいただき、9月中に米山事務局に振込み済です。ポールハリス、フェロー3名、マルチブル、ポールハリス、フェロー3名振込み済みです。9名の方の御協力有難うございました。

本橋源太郎 忽滑谷様 今日は宜しくお願ひします。

内田 学 先週は色々有難うございました。私はお酒に弱いですね。

大館 信夫 先日の横田基地見学、職業奉仕委員長本橋様、幹事 堀江様 御苦勞様でした。

石井 秀夫 体調不良の為、しばらく参加できず、皆様に御迷惑をおかけしました。良くなりましたのでよろしくお願い致します。

関根 克未 前回お休みしてしまいました。本日はどうぞよろしくお願い致します。

大原 律子 企業見学に参加させていただき、初めて横田基地へ入る事が出来ました。有難うございました。

## 卓話 ローター米山記念奨学部門委員長

忽滑谷 明様(入間ロータークラブ)



米山月間にあたり、卓話の機会を設けていただき誠にありがとうございます。当地区の米山記念奨学部門委員長として、米山記念奨学事業の理解の促進、寄付の増進、奨学生、学友との交流促進と広報等、お願いまたPRをさせていただきます。

ご存じの様に、ローター米山記念奨学事業は、1952年に東京RCが日本のローターの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後生に残るような有益な事業を立ち上げたいと立案し、5年後の1957年には日本の全クラブの共同事業となりました。国際ローターに認められた60年以上も続く多地区合同活動であり、日本のローターアンが作り育てた歴史と実績に基づいた世界に誇れる事業であります。

「最近の留学生はあまりお金に困ってなさそう」「反日国からの留学生にはお金を出したくない」「むしろ日本の学生にお金を出した方が・・・」「自国と日本との懸け橋って聞こえはいいけど実際は？」というお話をお聞きする事があります。しかし、この事業の目的は、国際平和と国際理解の推進であり、日本で学ぶ留学生を支援する事により、日本人と日本文化を正しく理解し、将来国際社会で活躍する人材を育てることです。『将来の日本の生き

卓話 ローター米山奨学生としての感想  
アリカム アキラム様

る道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を感じてもらえない。それこそ、日本のローターに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか』と、そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい・・・という当時のロータリアンたちの強い熱い願いがあったのです。その願いを我々は忘れてはならないのです。

これまでに支援した奨学生は 18000 人あまり、出身国は 120 カ国以上に達しており、民間では国内最大の奨学事業です。特に、世話クラブ及びカウンセラー制度は、ロータリアンとの交流により、金銭的な支援だけではとても得ることの出来ない感動を与えてくれる独特の事業です。

地区の奨学生の受け入れ人数は、前年度のその地区の留学生数、個人の平均寄付額、地区の寄付総額によって決められます。この寄付額を重視した算出方法は、寄付意欲が強く、奨学生をより多く採用したいと望む地区の要望に応えられるよう採用されており、ぜひとも、私達の地区もお隣 2770 地区に追いつきますよう引き続きご支援をお願いいたします。

近年皆様にご指摘いただくのは、中国、韓国の奨学生の受け入れが人数が他の国に比べて多いのではないかというご指摘です。実は、現在日本に約 14 万人居る留学生の約 6 割が中国籍で、次いで韓国、台湾が続く、漢字圏の地域だけで全体の 8 割を占めています。多様な国、地域から採用されることが理想的ですが、実際には、日本を留学先に選ぶ学生の国籍数が増えなければ難しいのが現状です。

米山記念奨学事業は、経済的に困っている学生への救済でも、特別な学業研究の奨励でもありません。母国と日本との懸け橋となるような人材を育てる、いわば教育事業です。その教育を受け持つのが世話クラブでありカウンセラーの皆さんです。クラブでの活動を奨学生も一緒になって体験し、日本の素晴らしさ、日本人の気遣い、思いやりを肌で感じて、母国、特に中国、韓国、台湾へ世界平和の願いを持ち帰ってもらいたいと望んでおります。これからも、引き続き当事業のご理解ご協力をお願い申し上げます。



皆様、こんにちは。平成 26 年度のローター米山奨学生のアリカムです。中国の新疆ウイグル自治区から来ました、採用されてからそろそろ半年になります。現在入間クラブのお世話になりました。そして、一か月一回の例会に参加させて頂くことによって、皆さんの奉仕の精神を凄く感じました。分野の違いにも関わらず、皆様は時間と金銭を出して週一回に集まることは最初よく理解できなかつたです。木下 登カカウンセラーと皆様のお話を聞きまして、だんだん分かってきました。その理由は、皆様が持っている同じな目的、社会奉仕の実現だと思えます。

新疆ウイグル自治区は中国の西北辺境、ユーラシア大陸の中心に位置している。自治区の総面積は 166.49 万 km<sup>2</sup> で、中国国土面積の 6 分の 1 に相当する。周辺は 8 か国と国境を接し、中国で最も長い国境線を有している。ウイグル族は漢民族と違って、豚肉・犬・ろばなどの肉、動物の血のついたものなどを食べない。牛・羊の肉類や乳製品を食べ、小麦粉で作った食物を主とし、主食の種類は数十種類ある。

この奨学金は、私の留学生活に経済的に助かることはもちろん、国際的な交流や理解など貴重なイベントを経験させました。また将来、懸け橋として国と日本の相互理解や友好を深めることを目指し、努力していきたいです。

日本に来てまず感じたことはサービスがとても丁寧で親切だということでした。日本のサービス制度が一番印象的でした。

二番目に感じたことは日本人の時間概念素晴らしです、時間守るは世界第一と思えます。

三番目に感じたことは生活の便利さでした。例えば電車、速いし、時間を厳守する。あとはコンビニです、24 時間開いてから生活必需品をだいたい全部

あるすごく便利です。

四番目に感じたことはスピーチです、ローター-米山入った初めての日から始まりましたスピーチです、日本人の方々はどんなテーマでもスピーチができますのでこれが素晴らしいです。これは私のとしてスピーチだけではありませんこれは勉強です。

いままで経験していなかったことがいっぱいあっても日本に留学生として来てとても良かったと思います。私のこれからの人生にとって貴重な経験であり、良い思い出となることでしょう。

今まで、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。これからも頑張りますので、宜しくお願いいたします。

新入会員のご推薦  
有難うございます。



栗原様 (吉田 孝之様ご推薦)

ローター-財団に御寄  
附有難うございま  
した。



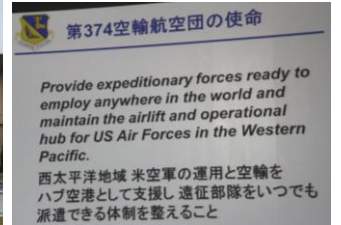
小暮 博文様

山田 富男様

\*御協力に心より感謝申し上げます

# 企業見学

10月21日(火) 横田基地・花林 (中国料理)



今週の担当 高橋 和男